

令和6年度
札幌市立みどり小学校
スクールゾーン
実行委員会だより

令和6年7月25日（木）

去る7月23日（火）本校1階視聴覚室にて「令和6年度交通安全スクールゾーン実行委員会」が開催されました。

- ・子どもの交通安全に関わりがある関係者による「子どものための会」とする
- ・学校、地域、保護者が「重点的に取り組む交通安全運動」を、子どもを守る共通項として持ち帰ることができる会とする
- ・子どもに係る情報を、学校が保護者・地域から集約、発信し、地域のコミュニティーとしての役割を果たす

子どもの安全・安心を直接支える方々にお集まりいただき、実効性のある会を開催することができました。

交通安全推進委員会
事務局長様からの情報提供



5月16日（木）8時20分、豊平区月寒東4条17丁目の市道交差点で、登校中に横断歩道を渡っていた小学4年生がワゴン車にはねられる大変痛ましい事故が発生。さらに20日には市内の中学生が登校途中に自動車とぶつかる事故が発生するなど、も令和4年度に発生した校区内の事故について、情報提供がありました。今年の5月は、交通事故や不審者情報が多く寄せられた期間となりました。

引き続き、交通事故抑止のために厳戒態勢を継続していく必要があります。

小学生に伝えること



- ① 信号が青でも必ず右左
- ② 横断する意思を運転者に伝えよう

家庭でできること

- ① 日常生活での交通安全のひと声
- ② 通学路を一緒に歩いて

見守って教えよう運動

令和5年度にみどり小学校区で発生した交通事故では、

- (1) 豊園通と米里行啓通の交差点（八条中正門側交差点）では、自転車通しの事故、自転車の単独事故が何件も発生しています。
- (2) 住宅街などの中通りよりも、豊園通、米里行啓通、平岸街道、36号線など自動車や自転車の交通量が多い通りでの交通事故が圧倒的に多いです。

このような傾向が見られることから、登下校はもちろんの事、放課後などに通行する場合には、交差点、車の動き、自転車には特に気を付ける必要があります。

交通安全指導員さんから

毎日、交差点で見守りや声掛けをしてくださっている交通安全指導員さんのおかげで、子どもたちの安全が守られていることに、日頃から感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。

- ・信号が青になると、走って横断歩道を渡る低学年がいます。歩いて渡るよう、毎日声をかけていますが、御家庭でもお子さんの登校の様子を実際に見て、声掛けをしていただければと思います。
- ・大人の交通ルール違反が子どもより圧倒的に多いです。子どもは、見ていますよ。